

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風（箱根ユニット）		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	令和6年6月24日	評価結果市町村受理日	令和6年10月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.wam.go.jp/wamapp1/hvoka/003hvoka/hvokekka_nsf/aOpen?OpenAgent&JN0=2291200034&SVC=0001096&B_JN=00
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和6年9月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の進行や機能低下が見られる利用者様お一人お一人に、寄り添いながら適切な対応を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

課題解決が進まず長年遠出外出はありませんが、買い物同行や散歩は叶っています。このように少しずつでも前進があり、例えば「地域交流は難しい」と停滞気味の時期を乗り越え、本年度は3月キャラバンメイト参加、10月には中学校における講座の予定が入り、御殿場看護学校からの実習生受入れにも取り組んでいます。他にも15時入りで夜勤者の会議参加を実現させ、献立は利用者のリクエストを取り入れる等小まめな工夫があり、家族にもそれが伝わるようで、「職員はいつも笑顔で対応しているが、年齢が高く(75歳以上2名)、疲れはしないか心配である」「災害時は職員の身を守ってください」という言葉が届いており、関係は良好です

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社理念、GH理念を事務所内に掲示している。	理念は毎日出勤時に目に入るよう、出勤簿のファイルに添付してあります。理念に基づき自立支援に力を入れており、日中は当然としてオムツが常態化しないように夜間も声掛け誘導をおこない、また自力摂取が続く為にも食事時間をずらして見守りしています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	デイサービスでの集団体操やレクに参加し、ご利用者様同士の交流の機会がある。9月のアルツハイマー月間に合わせて、施設紹介の展示を行う。10月に看護学校の実習生6人を受け入れる予定。	御殿場看護学校から直接申し入れがあり、昨年から実習生の受入れに取組んでいます(本年度は5名3日間)。また9月のアルツハイマー月間に合わせ、ふじざくら交流センターや駅前にある富士山市民のサロンけやきかんでは施設紹介の展示をおこなっています	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括や民生委員様を通じて、地域の活動に役立てる事はないかを話し合い、取り組んでいる。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在も書面開催となっている。議事録を送付の際には毎回施設運営に対する意見書を同封して意見を募っている。	5類移行後の運営推進会議の開催方法については「事業所に任せる」との回答を市役所から得ており、現在も書面開催を続けています。「災害時は職員の身を守ってください」という意見が出席の家族からあがったとのエピソードからは、良好な関係が視えます	「年内には対面開催したいと考えており、12月を予定している」「家族にも積極的に呼びかけていきたい」ということですので、準備を順次進めて実現の運びとなることを期待します
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所は近隣にあるため、日頃から連絡を取り関係を築いている。	地域包括支援センター職員は運営推進会議のメンバーになってくださっていますが、イベントや講座の情報などは入ってきてはいません。事業所からは、地域包括支援センターや介護支援事業所には空き情報をFAXでお知らせしており、連携を図るようにしています	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて、年間の社内研修に入れ込み、職員全員に落とし込みを行い身体拘束を行わないケアを実践している。	身体的拘束等の適正化に向けた委員会開催に加えて、平成30年4月から虐待防止検討委員会も運営するよう年間業務に位置付けています。全員がアイパットにて権利擁護などの学習がクリップラインでおこなえるようになり、研修も統一されています	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間の社内研修で虐待防止の研修を入れ込み、職員全員に落とし込み、虐待防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修で権利擁護について入れこみ、職員全員への落とし込みを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は十分に説明し理解して頂くよう努めている。契約後も不明な点があれば、連絡を頂いた時に都度説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の議事録を送付する時は、意見書を同封してご家族様からの意見を募っている。	運営推進会議の議事録を家族に送るとき意見書を同封していますが、返信がないので「要望はないのかな」「ハガキがいいのかな」と再検討に入っています。利用者については、要望に応えてコンビニエンスストアでの買い物が日常的におこなわれています	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議やグループホーム会議で話し合い、運営に反映させている。	会議は管理者に加えて副センター長も出席して、情報を共有しています。デイサービスでの活動から「(此处にも)足漕ぎの運動機器が欲しい」と利用者の要望を聞いた職員が代弁して購入に至った例もあり、受け身気味の職員も積極的姿勢に変容しています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回の個別面談を行い、個々の努力や実績などを話し合い、向上心を持って働けるよう評価を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事前にシフトを調整して、職員が法人内外の研修に参加している。職員のキャリアパスモデルを事務所に掲示し、ステップアップを促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が社外研修に参加した際に、市内の同業者と情報交換を行った。市内のケアマネ協議会や外部の会合に登録し勉強会等に参加している。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に、ご本人様から聞き取りを行い困っている事、不安な事、要望等に耳を傾け、安心して生活して頂けるよう関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に、ご家族様から聞き取りを行い困っている事、不安な事、要望等に耳を傾け、安心して生活して頂けるよう関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者や計画作成担当者が、ご本人様やご家族様と話し合いをする機会を持ち、必要としているサービスを見極め対応を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は一方的な介護ではなく、共同生活を行う中で関係が築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様から情報を頂き、またこちらからはご本人様の状況を報告しながら、共にご本人様を支えていく関係を築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様との面会や一緒に外出できるよう支援している。毎月送付する請求書に写真入りのお便りを同封し様子をみて頂いている。請求書を送らない身内の方も三ヶ月に一度お便りを送付している。	階下のデイサービス(35名、大型)からの入居者も5名おり、下へ降りて集団体操に参加することで以前の仲間に再会出来、飲ばれています。事業所でとる新聞を楽しみにする人、月刊誌を定期購読する人、2週間に1回部屋に飾る花が届く人などもあります	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、お客様同士の関係を把握し、お一人お一人が孤立せず、関わり合い支え合えるよう支援している。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、必要に応じてご本人様やご家族様のフォローを行い、相談や支援するよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員間で情報共有を行いながら、普段の様子や日常会話等で、お一人お一人の要望や意向の把握に努めている。	昔あったことについて語ったり、本人の意向が把握されたときには聞きとり日誌に記入しています。また利用者が日常において表情が変わったり、ふとこぼした言葉は、申し送りノートやアイパットで日報として残され、職員は出勤時に確認しています	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居宅ケアマネやご家族様、ご本人様等から情報収集を行い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段の生活での関わりを通して、ご本人の有する力や心身状態等の把握に努め職員間で情報共有を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映して計画書を作成している。	月一回開催のユニット会議では利用者一人ひとりのケース検討をおこない、更に3か月に一度モニタリングをおこなっています。介護計画書の作成にあたっては家族の意見も電話や面会時に確認していますが、サービス担当者会議に家族の参加はありません	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月一回開催のユニット会議で、ご利用者様の状況を職員間で情報共有している。またそれ以外にも申し送りノートやヒヤリハットを活用して、ご利用者様の状況に変化があった時には情報を共有して計画書の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映して計画書を作成している。ご加護本人様やご家族様の要望や意向に沿った形で柔軟に支援できるよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括や民生委員様、ご家族様から情報を提供して頂き地域行事参加に努めている。9月のアルツハイマー月間に関連しての作品づくり(パルーンアート)は職員がご利用者様を同伴して参加する予定だったが天候不良に付き中止となる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回訪問診療があり、日々の健康管理を行っている。訪問診療以外の受診はご家族様をお願いしているが、難しい時にはこちらで対応している。	協力医から月2回の訪問診療を受けており、記録は往診ノートに残されています。職員が薬管理おこない、夜勤者が個人別のポーチに1日分入れておく体制をとっています。事務所に設置された鍵付き書庫に薬を収め、個人毎に引き出しに入れています	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	デイサービスと兼務の看護師が、定期的にグループホームを訪問し個々の状況把握に努め必要な処置を行っている。訪問時には職員が気になる事を伝え情報共有を行っている。訪問診療時には協力病院の看護師に情報共有を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当看護師やSW等と情報交換を密に行い、治療方法、退院時期、退院後の対応等を細かく伝えてもらうなど良好な関係ができています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時には、重度化の指針に基づき説明している。『急変時や終末期における医療等に関する意思確認書』を入所時に記入して頂いているが、こちらの書類は定期的に送付して確認させて頂いている。	協力医は夜間対応できないので救急搬送の手配としていますが、看取りは前向きに取り組んでおり、一昨年は末期がんの療養者を看取っています。急変時や終末期における医療等に関する医師確認書を通じて、家族の意向確認を進めています	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修で職員に落とし込みを行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を行っている。うち1回は夜間想定として行い、職員一人一人が対応できるよう努めている。	年2回の防災訓練では他市から勤務する職員もいることから夜間連絡網も実践しており、今年度は夜勤にも時間を早めて駆けつけてもらっています。近くに川があっても水害はないので訓練には至っていないものの、備蓄は防災用備品倉庫を備えて整備しています	避難経路のルートは事務所に貼りだしていますが、職員に「確認するように」とは伝えていないため、机上の訓練として再確認に取組むことを期待します

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	後見人の来訪が毎月ある人もいますが、在宅の頃のご近所さんなどは断りを入れることもあります。「こんなと所に入れてかわいそう」と近所から言われた家族から申し入れがあったケースでは個別で対応をおこなっています	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様の話を傾聴し思いを受け止め、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様お一人お一人のペースを大切にし、個々の希望に沿った過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や外出時等の整容の支援や、希望者には定期的に散髪やヘアカラーを行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬のものや、バランスを考え提供している。入所者様の誕生月にはお好きなメニューをお伺いして提供している。	月～土曜日までの昼食は階下のデイサービスから届きますが、他はグループホームの職員が手作りしています。オリゴ糖を使用して便秘改善を図るほか、季節の旬のものを取り入れ、目から楽しむことにも配慮しています	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は、毎回記録して必要量の接種に努めている。個々に合った食事形態での提供や、量が減ってきている方へは高カロリーゼリー等を、ムセが見られる方へはゼリー飲料やジュレなど、お一人お一人の状況を把握して提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。ご自分でできない方へは職員が介助して口腔内の清潔保持に努めている。訪問歯科診療を希望して利用される方もいらっしゃる。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様お一人お一人に合わせたトイレ誘導や介助を行い、不快なく過ごしていただけるよう支援している。	布パンツは3名です。職員が手引き歩行や脇を抱えての介助をおこなうことで、トイレでの排泄を継続できている人は6名います。市役所からは、敬老のお祝いにオムツ券、75歳以上には健やか事業を通じたパンツ提供もあり、助けられています	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	普段の食事にオリゴ糖を使用したり、適度な運動を促し自然な排便が出来るよう支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の状態を確認しながら、声掛けや誘導を行い定期的に入浴できるよう支援している。季節によっては菖蒲湯やユズ風呂をご用意し入浴して頂いている。不定期だがデイサービスのお風呂を楽しめる利用者様もいらっしゃる。	入浴は週2回を目安としていますが、家族から「お風呂は好きだからできる限り…」と進言があることから、余裕があれば希望に応じて増やしています。皮膚疾患の人もあるため、入浴剤使用していません。階下のデイサービスのお風呂を利用する人もいます	バスタブ側面に付ける回る椅子は現在使用する人はなく、設置したままのことで、使用していないものは外したほうがよいかと思いますので、一度職員間で取り扱いについて話し合うことを期待します
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の習慣やその時の状況に応じ、休息や睡眠をとっていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、利用者様の薬剤情報を共有している。薬に変更があった時はユニット会議や申し送りノートで都度共有している。服薬時は職員が見守りや介助をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様お一人お一人の生活歴や力を活かした役割をお願いしている。またそれぞれの嗜好品や楽しみごと、気分転換が図れるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ご本人の様子を伺いながら状況に応じて、施設内敷地や周辺の散歩にお誘いしている。ご家族様との外出の際は必要に応じて車椅子の手配等を行い安全に楽しく外出できるよう支援している。	家族と外泊、旅行した利用者もいますが、ここ何年も事業所での遠出外出は実施がなく、今年度は近隣への花見もありませんでした。散歩については実施できていることから、カレンダーに個別のシールを貼っていくなど、実践の見える化があると、なお良いと思います	散歩以外の外出支援についての全体実施が難しい場合、介護計画書に個別外出(例、誕生日月に外食にでかける)を位置付けることも検討ください

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と買い物に行き、好きなものを選んで購入できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人やご家族様から要望があった場合、電話で話して頂いたり、手紙のやり取りができるよう支援している。携帯電話を持ち込みされている方もいらっしゃる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な思いや混乱を招くような刺激が無いよう配慮して、居心地よく過ごしていただけるよう支援している。	以前から温湿度計の設置はあり、5類移行となっても朝・夕の換気と、コンタクトポイントを中心とした消毒を継続していて、清潔感が漂う気持ちのよい共用空間です。また季節が感じられるような壁画や飾りつけが壁に連なっていて、和みます	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室や、フロア内の自席やソファで過ごされる方もおり、皆様思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時や入所後にご家族様が持って来られたものを居室に飾って頂いている。ご自分で作ったものや写真を飾っている方などいる。	自宅からは家族写真や手毬、テレビ、仏壇、椅子、テーブルなどが持ち込まれ、携帯電話を所持している人が2名います。居室のスペースは大変広いことから、車いすの利用が始まったからといって居室の動線確保など見直しはおこなっていません	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人のできる事や分かる事を活かして、できるかぎり自立した生活が送れるよう支援している。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風（富士ユニット）		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	令和6年6月24日	評価結果市町村受理日	令和6年10月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	https://www.wam.go.jp/wamappl/hvoka/003hvoka/hvokekka_nsf/aOpen?OpenAgent&JNO=2291200034&SVC=0001096&B_JN=00
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和6年9月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症の進行や機能低下が見られる利用者様お一人お一人に、寄り添いながら適切な対応を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

課題解決が進まず長年遠出外出はありませんが、買い物同行や散歩は叶っています。このように少しずつでも前進があり、例えば「地域交流は難しい」と停滞気味の時期を乗り越え、本年度は3月キャラバンメイト参加、10月には中学校における講座の予定が入り、御殿場看護学校からの実習生受入れにも取り組んでいます。他にも15時入りで夜勤者の会議参加を実現させ、献立は利用者のリクエストを取り入れる等小まめな工夫があり、家族にもそれが伝わるようで、「職員はいつも笑顔で対応しているが、年齢が高く(75歳以上2名)、疲れはしないか心配である」「災害時は職員の身を守ってください」という言葉が届いており、関係は良好です
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会社理念、GH理念を事務所内に掲示している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	デイサービスでの集団体操やレクに参加し、ご利用者様同士の交流の機会がある。9月のアルツハイマー月間に合わせて、施設紹介の展示を行う。10月に看護学校の実習生6人を受け入れる予定。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括や民生委員様を通じて、地域の活動に役立てる事はないかを話し合い、取り組んでいる。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在も書面開催となっている。議事録を送付の際には毎回施設運営に対する意見書を同封して意見を募っている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所は近隣にあるため、日頃から連絡を取り関係を築いている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて、年間の社内研修に入れ込み、職員全員に落とし込みを行い身体拘束を行わないケアを実践している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間の社内研修で虐待防止の研修を入れ込み、職員全員に落とし込み、虐待防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修で権利擁護について入れこみ、職員全員への落とし込みを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は十分に説明し理解して頂くよう努めている。契約後も不明な点があれば、連絡を頂いた時に都度説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の議事録を送付する時は、意見書を同封してご家族様からの意見を募っている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議やグループホーム会議で話し合い、運営に反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回の個別面談を行い、個々の努力や実績などを話し合い、向上心を持って働けるよう評価を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事前にシフトを調整して、職員が法人内外の研修に参加している。職員のキャリアパスモデルを事務所に掲示し、ステップアップを促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者が社外研修に参加した際に、市内の同業者と情報交換を行った。市内のケアマネ協議会や外部の会合に登録し勉強会等に参加している。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に、ご本人様から聞き取りを行い困っている事、不安な事、要望等に耳を傾け、安心して生活して頂けるよう関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に、ご家族様から聞き取りを行い困っている事、不安な事、要望等に耳を傾け、安心して生活して頂けるよう関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者や計画作成担当者が、ご本人様やご家族様と話し合いをする機会を持ち、必要としているサービスを見極め対応を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は一方的な介護ではなく、共同生活を行う中で関係が築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様から情報を頂き、またこちらからはご本人様の状況を報告しながら、共にご本人様を支えていく関係を築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様との面会や一緒に外出できるよう支援している。毎月送付する請求書に写真入りのお便りを同封し様子をみて頂いている。請求書を送らない身内の方も三ヶ月に一度お便りを送付している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、お客様同士の関係を把握し、お一人お一人が孤立せず、関わり合い支え合えるよう支援している。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、必要に応じてご本人様やご家族様のフォローを行い、相談や支援するよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員間で情報共有を行いながら、普段の様子や日常会話等で、お一人お一人の要望や意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居宅ケアマネやご家族様、ご本人様等から情報収集を行い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段の生活での関わりを通して、ご本人の有する力や心身状態等の把握に努め職員間で情報共有を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様やご家族様、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映して計画書を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月一回開催のユニット会議で、ご利用者様の状況を職員間で情報共有している。またそれ以外にも申し送りノートやヒヤリハットを活用して、ご利用者様の状況に変化があった時には情報を共有して計画書の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映して計画書を作成している。ご加護本人様やご家族様の要望や意向に沿った形で柔軟に支援できるよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括や民生委員様、ご家族様から情報を提供して頂き地域行事参加に努めている。9月のアルツハイマー月間に関連しての作品づくり(バルーンアート)は職員がご利用者様を同伴して参加する予定だったが天候不良に付き中止となる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回訪問診療があり、日々の健康管理を行っている。訪問診療以外の受診はご家族様をお願いしているが、難しい時にはこちらで対応している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	デイサービスと兼務の看護師が、定期的にグループホームを訪問し個々の状況把握に努め必要な処置を行っている。訪問時には職員が気になる事を伝え情報共有を行っている。訪問診療時には協力病院の看護師に情報共有を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当看護師やSW等と情報交換を密に行い、治療方法、退院時期、退院後の対応等を細かく伝えてもらうなど良好な関係ができています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですでることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時には、重度化の指針に基づき説明している。『急変時や終末期における医療等に関する意思確認書』を入所時に記入して頂いているが、こちらの書類は定期的に送付して確認させて頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内研修で職員に落とし込みを行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を行っている。うち1回は夜間想定として行い、職員一人一人が対応できるよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様の話を傾聴し思いを受け止め、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様お一人お一人のペースを大切にし、個々の希望に沿った過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や外出時等の整容の支援や、希望者には定期的に散髪やヘアカラーを行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬のものや、バランスを考え提供している。入所者様の誕生日にはお好きなメニューをお伺いして提供している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は、毎回記録して必要量の接種に努めている。個々に合った食事形態での提供や、量が減ってきている方へは高カロリーゼリー等を、ムセが見られる方へはゼリー飲料やジュレなど、お一人お一人の状況を把握して提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。ご自分でできない方へは職員が介助して口腔内の清潔保持に努めている。訪問歯科診療を希望して利用される方もいらっしゃる。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様お一人お一人に合わせたトイレ誘導や介助を行い、不快なく過ごしていただけるよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	普段の食事にオリゴ糖を使用したり、適度な運動を促し自然な排便が出来るよう支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の状態を確認しながら、声掛けや誘導を行い定期的に入浴できるよう支援している。季節によっては菖蒲湯やユズ風呂をご用意し入浴して頂いている。不定期だがディサービスのお風呂を楽しめる利用者様もいらっしゃる。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の習慣やその時の状況に応じて、休息や睡眠をとっていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、利用者様の薬剤情報を共有している。薬に変更があった時はユニット会議や申し送りノートで都度共有している。服薬時は職員が見守りや介助をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様お一人お一人の生活歴や力を活かした役割をお願いしている。またそれぞれの嗜好品や楽しみごと、気分転換が図れるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ご本人の様子を伺いながら状況に応じて、施設内敷地や周辺の散歩にお誘いしている。ご家族様との外出の際は必要に応じて車椅子の手配等を行い安全に楽しく外出できるよう支援している。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員と買い物に行き、好きなものを選んで購入できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人やご家族様から要望があった場合、電話で話して頂いたり、手紙のやり取りができるよう支援している。携帯電話を持ち込みされている方もいらっしゃる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な思いや混乱を招くような刺激が無いよう配慮して、居心地よく過ごしていただけるよう支援している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室や、フロア内の自席やソファで過ごされる方もおり、皆様思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時や入所後にご家族様が持って来られたものを居室に飾って頂いている。ご自分で作ったものや写真を飾っている方などいる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人のできる事や分かる事を活かして、できるかぎり自立した生活が送れるよう支援している。		